

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業『恵庭北島地区』

1. 事業の概要(案)

【事業の目的】

◎本事業は、老朽化や排水条件の変化に起因して機能低下した排水施設について、千歳川河川整備計画との事業間連携により更新整備を行い農地の湛水被害を解消し、地域農業の安定と食料の安定供給に寄与するものである。

【主要工事の概要】

◎受益面積 1,648ha
◎排水機 1力所 ■共同事業：1力所
◎排水路 4条 L=6.7km ■農業事業単独：3条 L=5.1km
■共同事業：1条 L=1.6km

2. 地域の環境に対する考え方

(恵庭市田園環境整備マスタープランより)

【現状と課題】

◎恵庭市は、西部が「支笏洞爺国立公園」に連なる広大な森林地域で、東部は水田地帯が広がる農業地域となっている。
農業地域は農村集落の形態を保っており、緑豊かな農村景観への関心が高まるなか、その保全と活用が求められている。

【環境保全の基本的考え方】

◎農村空間全体としての景観の調和・統一・環境保全を図ることに
より、豊かで美しい農村景観の維持・形成に努める。
◎農業生産の仕組みを通じて、土地や水、緑の環境を守る。
◎環境との調和に配慮した、安全・高品質な農産物生産を進める。

3. 環境との調和への配慮

【配慮の方針】

◎地域の環境保全に対する基本方針を踏まえ、排水施設の整備に当たっては、自然環境や生態系への影響を最小限とする工法を採用するなど、動植物の生息・生育環境に配慮する。

【配慮の内容】

■動植物の生息・生育環境の保全

①魚類・水生植物の生息・生育と、在来植生の早期回復に 配慮した排水路構造

→2面装工（露出河床）・植生シートの採用により、魚類水生植物の生息・生育環境の確保と、在来植生の早期回復を図る

②魚類等の生息に配慮した仮設工（工事中の配慮）

→汚濁処理施設により、工事中に発生する濁水の流出防止を図る

③猛禽類の営巣・繁殖に配慮した施工（工事中の配慮）

→低騒音・低振動機械を使用するとともに、施工中のモニタリングを行い、警戒行動の有無により施工速度を加減

■景観的配慮

④地域景観と調和した排水機場

→周辺景観との調和に配慮した色彩・明度を採用する

■環境に係る事業間連携

⑤千歳川河川整備計画と整合した環境配慮

→河川事業での保全対象生物（植物）が確認された場合、移植による保全を図る